

学労川崎

学校事務職員労働組合神奈川川崎支部

第 824 号 2025・7・15

shino3628@gmail.com

http://gakurou.gjpw.net/

バック
ナンバー
掲載

市教委「学校事務職員の在り方に関する今後の方向性(案)」公表 事務職員間の階層化と業務増の狙いは明らか—— 一貫して反対してきた学労川崎は厳しく対処します

対抗する意思も手段も学労川崎にはある

川崎市教委は7月11日、「学校事務職員の在り方に関する今後の方向性(案)」と、今年9月からのその「モデル事業」実施を公表しました。

「方向性(案)」は、「執行体制」と「標準的職務内容」の見直しを柱としています。校務運営への「参画」「活躍」、あるいは事務の「標準化」「平準化」といった言葉で装飾されていますがその中身は、係長・課長補佐を上位とする学校事務職員のグループをつくり階層化・上意下達の体制を設けること、その体制のもと学校事務職員の業務を増やすこと、の2点に尽きます。

学労川崎は「在り方」の議論が始まる以前も以降も一貫して、業務増と学校事務職員間の階層化に反対。その立場は市教委にも繰り返し申し入れてきました。今回の「方向性(案)」の詳細については確認中の点もありますが、業務増と階層化の狙いは明らかであることから、「方向性(案)」に対して強い反対と厳しい対処の意を、市教委に対し表明しました。

徴収金、就学奨励費、学籍転出入、教科書、調査統計。さらには文科省通知別表第二の示す学校評価、コミュニティスクール、施設開放、保護者連絡、防災計画、危機管理マニュアル、情報公開。「人材育成」と「効率化」のみで、これら(にとどまらない)すべてを事務職員が担えという「方向性(案)」。不安を抱えている方も多いと思います。

明らかな過重業務を許さないことは労働組合として当然の責務。その意思だけでなく、対抗する具体的な手段も私たち学労川崎は持っています。自らの労働条件を守るため、学労川崎にご参加ください。

文科省「標準職務」通知への評価

「方向性(案)」は、文科省の20年7月「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について」通知を出発点としています。

学労川崎は同月の本紙766号で「学校事務職員への新たな業務負担増・労働強化攻撃が危惧され」として強い反対を表明。さらに767~9号にかけて連載企画「業務転嫁の『標準職務』」で、通知を読み解くとともにその本質が事務職員への業務転嫁であると批判しています。(web掲載)

一方川教組の上部団体である日教組の事務職員部は、20年9月にまとめた見解で文科省通知を積極的に評価。「事務職員部運動における大きな到達点」と自負し、「通知の別表一から別表二へ、マネジメント業務を担う職へと認識を強めていく必要があります」と、膨大な業務を積極的に担う姿勢を表明しました。この「見解」は、川教組事務職員部の内部集会でも繰り返し紹介されています。

そんな文科省通知の結果が、「方向性(案)」です。文科省とともに、この通知を積極的に評価した日教組=川教組の立場も問われます。

同時に強調しておきたいことは、**国の通知があるなら従うしかないものではない**、ということです。通知は文字通り「参考例」に過ぎません。そうした点であきらめる必要もないのです。

組合加入・労働相談歓迎

学校事務職員を長く続けたい方、学校事務をもっと良くしたい方、働き方を改善したい方、仕事の悩みを抱えている方、学労の取組に参加したい方、学労の取組を応援したい方——お気軽にご連絡を。

新旅費システム 一部で前進回答 早期実現を求める

学労川崎は7/9、新旅費システムに関する要求事項(前号掲載)への回答交渉を市教委当局と持ちました。

要求事項のうち8点の必要性について一致し、5点は5月下旬段階で総務事務センターに要望済み、3点は今後要望していくとの回答。学労川崎からは、実現に向け期限を切って結論を求めること、追加要望はなるべく早期に実施することを求めました。

またシステム処理速度の遅さについては、同様に総務事務センターに伝達済みながら、原因がわかっていないこと、市役所庁舎ではそうした課題は生じていないことが明らかになりました。

学労川崎は一部の要求事項が現状維持回答であったことも踏まえ、処理速度の遅さはすべての手続きに際して支障となっており一刻も早い解消を改めて強く申し入れました。

新旅費システムに関する学労川崎要求	市教委回答
出張命令・復命入力について ・所属内の他の職員の出張命令を複写して出張命令を作成できるようにすること。 予算科目選択について ・従来同様、一度選択した科目が年度内は自動表示される仕組みとすること。 ・復命入力時にも予算科目を修正できるようにすること。 職員情報システムとの連携について ・復命時に修正した時間は、所属長決裁時点で職員システムに反映されるようにすること。 旅費担当者による機能について ・旅費担当者において、所属内の他の職員の出張命令を複写して別の職員の出張命令を作成できるようにすること。	総務事務センターに要望済み。回答待ち。
予算科目選択について ・普通旅費科目と宿泊等旅費科目との文字表記を異なるものとする。 職員情報システムとの連携について ・回議中のお出張命令を、職員情報システム出退勤管理画面において休暇等と同様に*印で表示すること。 旅費担当者による機能について ・所属内職員の通常の決裁ルートについて、旅費担当者により指定できるようにすること。	今後要望していく。
・出張先手入力時の所在地について、住所選択ではかえって煩雑となっているため、すべて手入力とすること。	手入力による間違い回避のため。要望していない。
・出張先検索における最寄駅機能はわかりづらく、経路誤入力も招くため、なくすこと。	手間が省ける部分もある。要望していない。
・復命入力について、旅費の有無で選択メニューを分けることをやめること。	決裁ルートが変わる。必要な機能。
・ゼロ円出張の場合は、職員情報システム出張届のみの入力でも可とすること。	服務規程により旅費システムを使うことになっている。

【連載コーナー】

2文で回答・続きはwebで

このコーナーは仕事上の素朴な疑問に

2文で“結論のみ”回答します。理由や意味を解説する“続き”は、本紙本号 web 版をご覧ください。



閉庁日は休暇にしなきゃダメですか？

出勤してもOK。
休暇は自分の取りたい日に
取りましょう。



解説は
webで

